

日時：令和8年3月3日（火）14：00

場所：ぽこあぽこホーム

進行：サービス管理責任者 A

記録：生活支援員兼世話人 B

1、開会の挨拶 管理者 C

お忙しい中、足を運んで頂き、ありがとうございます。意見交換を行いながら、利用者さんの権利擁護等に話し合えたらと思います。本日は、よろしく願いいたします。

2、出席者紹介

【地域住民代表】 D氏 （民生委員・児童委員）

【利用者家族】 E氏 （後見人）

【福祉知見者】 F氏 （近隣事業所）

【利用者】 G氏

【事業所職員】 C（管理者）、A（サービス管理責任者）、B（生活支援員兼世話人）

3、利用者の権利擁護について報告

【サービス管理責任者】A、現在、ぽこ・あ・ぽこホームでは、不適切な支援等はなし。法人では、毎月一回、各事業所の代表が集まり、権利擁護委員会を開催し話し合いを行っている。また、年に3回全職員を対象として、チェックシート（50項目）を実施している。主な活動として、①権利擁護・虐待防止に向けた職員研修②保護者向けの虐待防止研修（これは保護者からも、年に1回は継続して研修して欲しいと意見があった。）③利用者向けの虐待防止研修、嫌な事をされた、嫌な事があった等があれば声を上げるなどの啓発を行っている。

4、質疑応答・意見交換

Q) 【福祉知見者】F氏：朝食や夕食時間など、食事の時間は決まっているんですか？

A) 【サービス管理責任者】A：決まってはいるが、本人に合わせて個別対応をや、時間をずらしながら対応している。

Q) 【福祉知見者】F氏：非常食に何日分用意するなどの決まりはありますか？

A) 【サービス管理責任者】A：3日分が理想で準備はしているが、保管するスペースが限られている。特に、ぽこ・あ・ぽこホームの利用者は10名で、3日分となると90食分の準備しなければならない。

Q) 【サービス管理責任者】A：H園では、備蓄品の準備はどうしていますか？

A) 【福祉知見者】F氏：こちらも3日分が理想ですが、やはり保管スペースに限りがある為、1日分が限度。備蓄品等は、基本的に栄養士が備えることとしている。賞味期限が1~2

か月を切ったら、避難訓練等での使用や、フードドライブキャンペーンに寄贈している。現在建て替え中である為、完成すれば、備蓄品も3日分は確保できるのではないかと考えている。

Q)【利用者家族】E氏：備蓄品の1日分はどのくらいのスペースを要しますか？

A)【サービス管理責任者】A：大体棚2つ分ほど使用し、水も60L程用意している。売られている防災バッグを実際に見てみると、利用者が食べられないものが多い為、事業所ごとに工夫している。

Q)【サービス管理責任者】A：H園では、避難訓練は全体でやっていますか？

A)【福祉知見者】F氏：全体の1/3程度が参加し行っている。全員は難しい。

Q)【サービス管理責任者】A：津波想定訓練はどうしていますか？

A)【福祉知見者】F氏：事業所が高台にある為、避難場所に指定されている。災害時は受け入れる態勢である。

Q)【サービス管理責任者】A：夜間帯の対応はどうしていますか？

A)【福祉知見者】F氏：夜間は職員6名+警備員 実際に避難するとなると、100名単位での避難になる。非常時の連絡網があり、何かあればすぐに応援できる態勢は取っている。

Q)【管理者】C：新しく立て替えられる場所では、基本エレベーターを使うのですか？

A)【福祉知見者】F氏：基本的には、エレベーターの使用になると思うが、職員は階段を使用する可能性あり。エレベーターは数十名入るほど大きく、緊急搬送時には、ベッドごと移動可能。

Q)【サービス管理責任者】A：高齢者施設での病院受診は、保護者対応ですか？

A)【福祉知見者】F氏：定期受診等の場合は、基本的に保護者や家族での対応になる。緊急搬送の場合、救急車に職員が乗車し、病院で保護者へ受け渡ししている。家族がいない方については、相談員が対応。基本的に家族がいる方については、家族対応してもらっている。

Q)【サービス管理責任者】A：面会についてはどうしていますか？

A)【福祉知見者】F氏：感染症が流行してからは、部屋での面会は行っていない。

Q)【サービス管理責任者】A：高齢者施設は満床のところが多いですか？

A)【福祉知見者】F氏：昔と比べて今は待機者数も少ない。半年かからないくらいで、入居に繋げる事が出来ている。

5、事業所見学

質疑応答後、事業所見学を実施。当ホームは、前回見学を行っている為、チューリップホーム、かぐや姫ホームの見学を行う。